

# まらり

酒田市農業委員会報 No.45



「希望の朝日」 ～飛島から鳥海山を望む（平成28年 鳥海山・飛島ジオパークは日本ジオパークネットワークに認定されました）～

## 特集

年末年始のごっつおに見る酒田の食文化（2、3面）

ご存知ですか家族経営協定（4面）

農業委員会活動レポート（5面）

キラリな女性 かがやく女性農業者（6面）

若手農業者リレーエッセー かぜ

農業一筋 短信（7面）

進む農業の法人化 ー地域での取り組みー（8面）

29年新春号

## 特集

## 年末年始の

## ごちそうおに見る

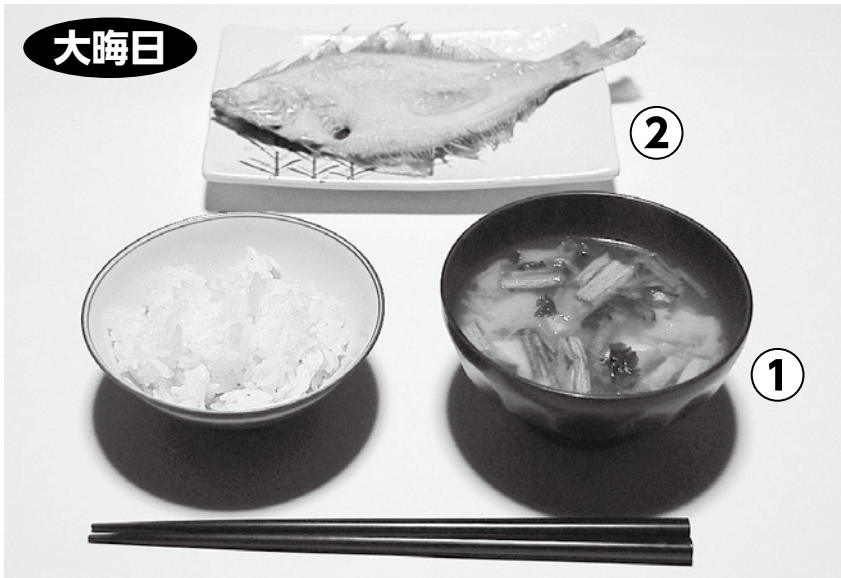
## 酒田の食文化

新年、明けましておめでとうございませう。この年末年始、皆さんはどうお過ごしになりましたか。きつとよい年越しだったかと思ひます。

さて、多くの家庭では年末年始のごちそうが並んだことかと思ひますが、「昔は食べたいけど、今は、」という家庭もあるかも。ちよつとここで年末年始のごちそうを振り返つてみませうか。年末年始のごちそうについて、どんなものだったか農業委員が調べてみました。

古くから連綿と伝わる食文化には、この地ならではの歴史とともに、1年間の無事と恵みに対する感謝、そして新たな年の幸せを祈る気持ちが入められています。

お腹いっぱい時期かもしれませうが、酒田の食を改めて知るきっかけにもなるかもしれませう。



大晦日

## ② 年取り魚

「年取り」とは、ごちそうを並べて年神さまをお迎えする習わし。そのとき食膳に上るのが「年取り魚」です。全国的には鮭やブリを食べるところが多いようですが、この辺では地物の魚として旬のカレイが多く食べられているようです。山あいの地域などでは、ため池に養殖していた鯉をいただくところもあります。

## ① 納豆汁

この地域の特徴は、もだし（ナラタケ）を入れること。芋がらやワラビを入れる家庭も多いようです。農村部では、以前から大豆を植えるところが多く、収穫した大豆を各家庭で納豆にしていました。それをすりつぶして納豆汁にしていました。地域によって、具材を細かく切つて入れるところもあります。

## 年末年始のごちそう今昔

「えびろんまます」の皆さん

(広野地区)に聞きました

やっぱり大晦日は納豆汁と煮しめ、それに魚です。魚は新巻鮭や塩鱈などさまざまです。当時は苗代の畦畔に大豆を植えていて、どこの家でも家族総出で納豆づくりをしていました。大家族だったことと、わらがあつたからできたこととです。

年越しの1週間ほど前から女性は大忙し。納豆づくりのほか、ごぼう炒りや鱈の子炒り、そして棒鱈煮などをたくさん作っていました。

元日から3日までは、まな板や包丁を使わないで食事をいただくものだと教えられました。それでごちそうをたくさん作っていたんですね。三が日は女性を休める気遣いだったようです。そのために年末は大忙しだったのですが(笑)。行事食を含め、昔から伝わる食事は絶やしてはならないと思ひます。そのため日頃から私たちが作つて、見せて、食べてもらうことを意識しています。

## 新年のごあいさつ

酒田市農業委員会

会長 五十嵐 直太郎



新年明けましておめでとうございます。

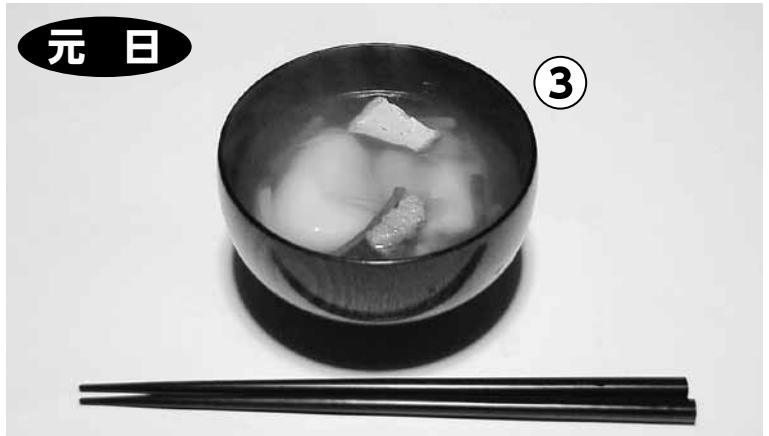
昨年は、水稻の作況指数が103となり、稲作はじめ果樹、園芸それぞれで手応えを感じた年だったのではないのでしょうか。

一方、TPP関連については、トランプ次期米大統領の動向も合わせ注視していく必要があります。また30年産米からの生産数量目標の配分方法の変更や、コメの直接支払交付金の廃止など、それに対する具体的な施策が不透明で、生産農家は不安を募らせています。今後は、機を逸しない正確な説明と現場を踏まえた支援措置等の実現を強く望むところです。

今年は農業委員の選出方法が公選制から議会の同意を経て市長の任命制に変わるなど、法改正に伴った新農業委員会体制への移行の年でもあります。

これからも農業委員会は、農業者の声を聞き、関係機関等のご協力を賜りながら、酒田農業の発展のために邁進して参りますので、皆様のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

## 元 日



## 年末年始



### ⑤ ⑥ 鱮の子炒り、ごぼう炒り

この季節、どこの家庭でもおかずとして大量に作っていました。年末年始に限らずこの季節の思い出のおかずです。

### ⑦ なます

お正月の料理としてポピュラーな大根とニンジンの紅白なます。地域や家庭により干し柿やイクラ、氷頭を入れていただいています。

### ③ 雑 煮

酒田ではほとんどが丸餅ですが、丸餅は関西以西に多く、関東から北にかけては角餅が概ね一般的。京文化の影響といわれています。この辺ではしょうゆ仕立てが多く、元日にお餅を焼くのは男性の仕事との声が多数ありました。

### ④ 棒 鱮

冬季間の保存食として以前から親しまれていた食材。時間をかけて甘辛く煮ていただきます。

## 感謝と祈り

大晦日は1年の実りと、家族が無事に過ごせたことへの感謝。元日は新しい年が無事で、そして豊作であるようにとの祈り。精一杯の気持ちを含めてごつつおを作っていたのですね。まめに達者で暮らせるよう、そして子孫が繁栄するように等々と。

その季節や行事での食事には、その頃の匂や保存していたものが色濃く反映されています。祭りや行事の食事をいただくとき、少し思いを寄せてみませんか。今年1年が皆さんにとって、よい年でありますように。



写真左から 熊谷あさ子さん、熊谷花井さん、相馬富子さん、(聞き手)佐藤玲子委員

# ご存知ですか 家族経営協定

## 女性に若者に魅力ある農業を

### 家族経営協定とは

家族経営協定とは、家族で取り組む農業経営について、経営方針や役割分担、就業条件、休日、収益配分などについて、家族みんなが話し合いながら取り決めるものです。

法人化が進みつつあるとはいえ、家族経営が多い酒田市の農業。比較的農閑期で家族が揃うこの時期。この機会に家族みんなが話し合ってみませんか。

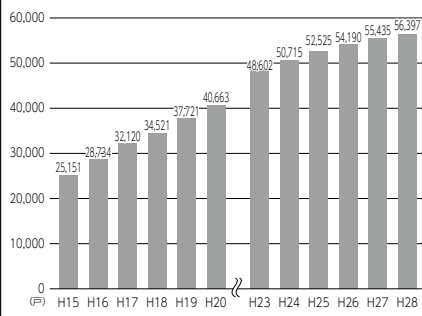
協定締結により、お嫁さんや後継者のやりがい、ワークライフバランスの面でも効果が期待されています。近代的な農業経営の確立と、健康で明るい家庭を作るとともに、話し合いを通して家庭内の意思疎通と、各人の意欲向上という側面も非常に大きなものがあります。

### 増加している締結数

酒田市では、平成27年度末時点で134の農家が協定を締結して

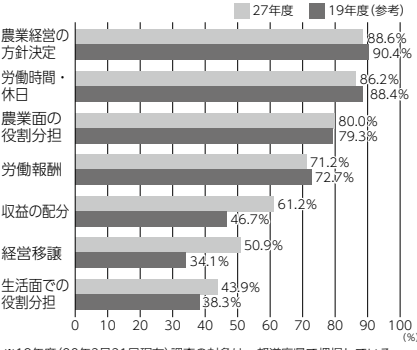
いますが、農林水産省の調査によると、全国における締結農家数は5万6千397戸であり、前年に比べ962戸（1・7割）増加しました。

家族経営協定締結農家数



注1. 各年とも3月31日現在。  
注2. 東日本大震災の影響により、平成23年の宮城県及び福島県の一部自治体の締結農家数については、平成22年3月31日現在のデータを引用。

家族経営協定の取り決め内容(複数回答)



※19年度(20年3月31日現在)調査の対象は、都道府県で把握している締結農家数である。

### 協定で受けられる メリットも

協定を締結することによって次のような支援等を受けることができます。

それぞれ一定の要件がありますので、詳しくは問い合わせ先にお尋ねください。

#### ○認定農業者の認定

実質的に共同経営を行っている場合、協定締結により夫婦等による共同申請が認められています。

#### 【問い合わせ先・酒田市農政課

Tel 26-5766

#### ○青年就農給付金の夫婦共同受給

夫婦ともに就農する場合、協定の締結により、経営開始型を夫婦合わせて1・5人分を受給することができます。

#### 【問い合わせ先・酒田市農政課

Tel 26-5766

#### ○農業者年金保険料の政策支援

青色申告をしている認定農業者等と協定を締結した配偶者、後継者の保険料(2万円)のうち、一定割合の国庫助成が受けられます。

#### 【問い合わせ先・酒田市農業委員会

Tel 26-5767

### 山形県農業委員大会

10月28日、新庄市市民文化会館において、平成28年度山形県農業委員大会が開催されました。

永年勤続表彰、全国農業会議所による情勢報告に引き続き、県内の3つの地区から、農地利用の最適化や農業者年金の推進などに関する議案が提出され、満場一致で決議されました。

また、活動事例発表と今後の取り組みに向けた決意表明も行われました。参加した県内各市町村の農業委員は、農業委員会の制度改革が進む中であって、地域における委員の使命と役割をこれまで以上に強く認識する大会となりました。



## 活動レポート

### 第19回全国農業担い手サミット

11月10日、11日にかけ岐阜県で開催され、農業委員3名が参加しました。初日は皇太子ご夫妻をお迎えして、開会式典や岐阜県の女性担い手によるパネルトークなどが行われました。

2日目は山県市にて、生産、加工、販売の6次産業に取り組み建設会社の視察や「伊自良大実柿」の連柿づくり体験のほか、20年前から地物農産物の加工、直売で地域活性化を担っている女性グループ



### 社会福祉に役立てて

11月4日、酒田市社会福祉協議会にサツマイモを贈呈しました。耕作放棄地の解消と農地の有効活用を図るため、農業委員会で栽培に取り組んできたものです。この日は、5月に定植し、10月に収穫したサツマイモ約70キを阿部直善会長に贈呈。届けられたサツマイモは、給食で提供されるとのことで、社会福祉に役立てていただくことになりました。



ブ、水稲、小麦、大豆、ニンニクなどの複合経営に取り組み農業法人なども視察。それぞれが飛騨、美濃伝統野菜で地域活性化に取り組んでいましたが、多聞に漏れず高齢化が課題のようでした。  
(佐藤玲子委員)



### 「ときめきでゅー」 農業青年の出会い交流イベント

11月5日、庄内地区農業青年出会い・交流事業の婚活イベント「ときめきでゅー」が酒田市内で行われました。

当日は男性12名、女性9名が参加し、交流パーティーやグループトークを通じた出会いの機会を持ちました。酒田市、三川町、遊佐町の女性農業委員7名が「農家のおせっかいおばさん」として白い割烹着姿で参加者のサポートに回り、そのかいあって、見事4組のカップルが誕生しました。

### 東北・北海道ブロック

#### 女性農業委員研修会

東北・北海道の女性農業委員約200人が参加し、11月17日～18日、山形市を会場に開催されました。

初日のNPO法人全国地域結婚支援センター代表理事・板本洋子氏の記念講演では、若者の未婚事情や男女の違い、結婚の課題やタブーを逆手に取る話しを聞き、会場を大爆笑に包みながら後で考えさせられる内容でした。

18日は、「女性農業委員のホン

ネで語り合おう！」と

題して、芋煮、つや姫

のおにぎり

など、山形の美味しい

食での交流会。記念講

演で頭がハッキリ、研修会で心がスッカリ、美味しいもので身体がホッキリ。頭も心も体も良い刺激のあった2日間でした。

(関口友子委員)

山形県女性農業委員の会(会長)



## キラリな女性

かがやく  
女性農業者

## 女性と農業



新田 久保 美佳

私は専業農家の長女に生まれ、高校3年生のとき、父に「農業してみねが？」と言われたのをきっかけに、県立農業大学校へ進み、卒業後就職しました。就農してすぐの頃は、休みがなく畑と家の往復の毎日が正直嫌だったものです。その後結婚し、主人も農業を始めました。子どもも2人授かることができ、子どもに働いているところを見せられて、作った作物を食べさせてあげられることは素敵だなと思えるようになりました。この13年間、農業と携わってきて思うことは、今までの農業は男性が主体で、女性が前に出て行くことが少なかったのではないかと思います。でも、野菜や果物を

買うのも、料理するのもほとんどが女性だと思います。農家の女性だったなら、そんな消費者の気持ちや細かなところに気付けるはずですよ。

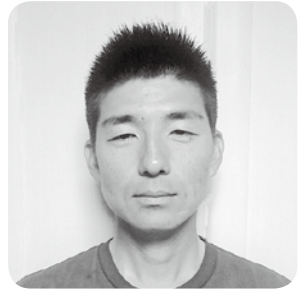
これからは女性ももっと前に出て活躍してもいいと思います。農家に嫁いで「毎日畑と家の往復しかしていいいなあ」と感じているあなた。そんなあなたに朗報です！私も所属している「すくすくあぐりネット」で一緒に活動してみませんか。市役所での直売や宅配サービスの活動を通して、子育て期の悩みや喜びを話せる仲間ができますよ。男性を立てつつ、女性が明るく元気でいられること。それが農業や家庭を活気付ける源になると思います。



すくすくあぐりネットの仲間たちと

## かぜ

～若手農業者リレーエッセー～



## 就農1年目を振り返り

八幡遠田裕己

のか不安でしたが、何とか収穫できたので、少し安心したのを覚えています。しかし夏場の高温で生理障害が出て、多くの株を廃棄するという苦い経験もしました。

現在は循環扇で空気を循環させたり、カルシウム散布をしたりと、少しずつ試行錯誤しながら改善している状況です。日記も書いて、改善点が分かるよう心がけています。販路は今も青果市場の一つだけですが、これから規模拡大しながら、販路も広げていければと考えています。

まだまだ始まったばかりで改善するところが沢山ありますが、地域の皆さんを巻き込みながら、水稲も含め、いい米いい野菜を作り、地区の活性化に役立てればと思っています。

私は、市内の測量会社で15年ほど働いていましたが、実家が農家ということもあり、もともと農業には興味がありました。5年ほど前に父に相談し、農業をしてみたいと言った際、水稲以外の事をやった方が良いとアドバイスをされ、水耕栽培で葉物野菜をやってみようと思いいちました。去年、70坪のハウスを自分で建てることから始めましたが、最初は建て方が分からず、何回かやり直ししながらの末、何とか完成できました。今年は100坪のハウスを増やし、内部の設備を自作しています。最初は、これで野菜ができる



# 農業委員がおじゃましてお聞きしました!

農業  
一筋

平田地区

佐藤 幸悦  
三 恵 ご夫妻



「お客さんに喜んでもらえるのが何より嬉しいね」と、穏やかな笑顔で話されるのは、約10年ほどの畑に野菜を作付けしている幸悦さん(80歳)、三恵さん(76歳)ご夫妻。春はキュウリ、ナス、夏はお盆花、秋から冬にかけては大根、白菜などを育てています。

収穫した野菜の多くは漬物に加工して、平田の産直「めんたま畑」に出荷しています。開設の頃から漬物を手がけ始めたそうで、最初は手探りでスタートだったといえます。農業技術普及課に聞いたり、調べたりして、自分の家の味を出していったとのこと。視察研修に出たときは、その地の漬物を

必ず食べてみて、味の参考にしているとは三恵さん。味の探求に余念がありません。また商品にはオリジナルのシールを貼っているそうで、今ではお客さんが覚えてくれて、シールを目印に探してくれていると嬉しそうに話します。

毎朝、二人で出荷に行き、10時頃帰宅してコーヒーを飲むのがほっとするひととき。産直で出荷している人とお喋りもまた楽しいといえます。

「定年もない仕事。元気に続けていきたい」と話し、漬物作りは三恵さん、包装、袋詰めは幸悦さんが上手と、自然と役割分担も。二人三脚という言葉がぴったりのお二人。いつまでもお元気で。  
(後藤保喜委員)



## 平成29年度 酒田市参考賃借料

(10a当たり)

農地	区分	平成29年度	平成28年度	基準収量
田	1	12,000円	12,000円	600kg
	2	10,000円	10,000円	580kg
	3	7,000円	7,000円	550kg
	4	4,000円	4,000円	520kg
	5	1,000円	1,000円	480kg
畑		4,000円	4,000円	

酒田市農地集積センター参考賃借料検討協議会 作成

※あくまでも参考の金額ですので、委託者・受託者双方で相談して決定してください。

※転作(大豆・飼料用米)を加味した額となっています。

※土地改良区の償還金があるところ、変形田、中山間地等の作業環境が悪いところについては、委託者・受託者双方で相談して決定してください。

## 農業者年金に加入しましょう

老後の生活をしっかりサポートします。  
農業に従事する方なら、広く加入いただけます。

\*\*\* 農業者年金のメリット \*\*\*

- ① 少子・高齢化時代に強い積み立て方式
- ② 保険料の額は自由に決められます
- ③ 終身年金で80歳までの保証付き
- ④ 保険料は全額社会保険料控除
- ⑤ 保険料に国庫補助も(要件があります)

# 全国農業 新聞

農家の経営とくらしに役立つ情報を  
農業者の視点でお届けします

●発行日 毎週金曜日

●購読料 1か月 700円

※お申し込みは農業委員会へ

## 農事組合法人「ファーム北平田」

～北平田地区～

代表理事 樋口 準 二

○名前の由来を教えてください  
設立発起人会で名称を検討した結果、地域一法人であるため、地区の名称「北平田」を入れること、そしてファームを先頭に置くことで、規模の大きな法人のイメージを定着させたいと思ったからです。

○経営の内容は  
組合員101名 役員12名  
経営面積 425<sup>ハ</sup><sub>ヘ</sub>  
主な農産物 米、大豆、長ねぎ



○設立のきっかけは何ですか

平成19年度に地域一本で集落営農組織を立ち上げ、21年度では「集落営農法人化等緊急整備事業」の活用により17台のコンバインを導入し、機械コストの削減と労働力軽減に努めてきました。しかし、農業所得の低下や担い手の減少と地域農業に危機感が高まる中、地域一丸となった強固な生産基盤を確立するために、農事組合法人の設立となったものです。

○これからの抱負を

更なるコストの削減と労働力軽減を図るため、昨年コンバイン3台を導入し、計20台で水稻の収穫作業を行いました。また春作業においては、育苗ハウスの建設と田植え機の導入を計画しています。

他に、現在810<sup>㎡</sup>の鉄骨ハウスを4棟、旧北平田小学校跡地に建設中で、最先端技術を採用



鉄骨ハウスの起工式

### なんの野菜の花？



#### ヒント

- ◇アブラナ科アブラナ属の中国野菜の一種で花芽を食べます。
- ◇中国野菜を掛け合わせた新しい品種です。
- ◇名前の由来は、食べた時の歯ごたえと甘い風味がアスパラガスとよく似ていることから。

答え・アスパラ菜

用したトマト栽培も今年計画しています。この園芸事業で法人の生産基盤の拡大とともに、担い手の育成と雇用の創出を図り、地域農業の発展に貢献していきたいと考えています。

## 編集後記

今回の新年号では、年末年始にいたただく「ご馳走」を取り上げました。私ごとですが、新年のご馳走で思い浮かぶのが、みかんです。私が幼かった昭和30年代後半、みかんは木箱に入っていました。頂き物のみかんを、正月に釘抜きを使って開ける。ワクワクする瞬間でした。当時みかんは高価でした。

その頃盛んに植えられたみかんが、成木期になった昭和40年代後半から価格暴落が相次ぎ、みかん不況が始まりました。その後、中晩柑類への高接更新や温室みかんと、みかん農家のさまざまな技術革新や経営努力が払われてきました。

今、日本のみかんは、アメリカでは「テレビオレンジ」として親しまれているとか。コタツの定番みかんにも、農家の努力の歴史があるようです。

(ごとう)

#### 前号のお詫び

前号8頁「進む農業の法人化」において、行の脱落がありましたことをお詫び申し上げます。